

18. 産業別労働組合

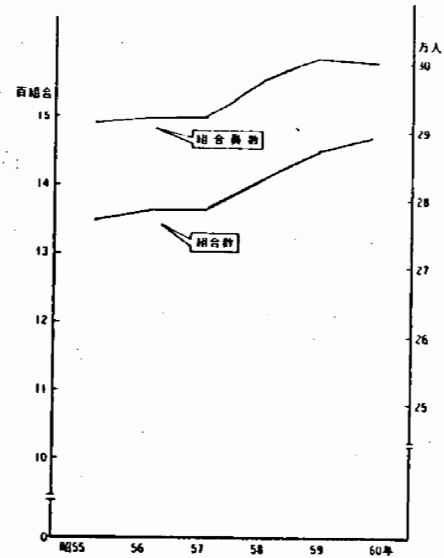
労働組合、組合数の推移

昭和60年の県内の労働組合数は1,471組合、組合員数は300,159人で前年と比較すると、組合数は21組合(1.4%増)増加したが、組合員数は554人(0.2%減)減少している。

産業別にみると、製造業が最も多く407組合、103,870人とそれぞれ全体の27.7%、34.6%を占めている。

組合数で増加したものは卸売業、小売業(16組合)、建設業(4組合)、電気・ガス・水道・熱供給業(4組合)であった。

一方、組合員数で増加したものは、運輸・通信業(627人)、金融・保険業(463人)などで減少したものはサービス業(1,695人)、公務(301人)、製造業(158人)などとなっている。



各年6月30日現在

年, 産業別	組合数	組合員数		
		計	男	女
昭和55年	1 354	290 012	208 068	81 944
56	1 365	290 783	206 343	84 440
57	1 365	290 975	205 958	85 017
58	1 407	296 721	210 865	85 856
59	1 450	300 713	214 049	86 664
60	1 471	300 159	213 548	86 611
農林業	1	78	60	18
漁業	2	104	97	7
鉱業	5	117	98	19
建設業	4	660	591	69
建設業	45	13 842	13 116	726
製造業	407	103 870	90 596	13 274
卸売業	155	16 288	10 699	5 589
小売業	85	22 101	7 559	14 542
金融・保険業	10	868	731	137
不動産業	338	47 640	41 279	6 361
運輸・通信業	45	7 007	6 121	886
電気・ガス・水道・熱供給業	268	49 218	19 238	29 980
サービス業	105	38 354	23 354	15 000
公務	1	12	9	3
分類不能の産業				

注) 労働組合基本調査による。

資料 労政課「千葉県の労働組合」